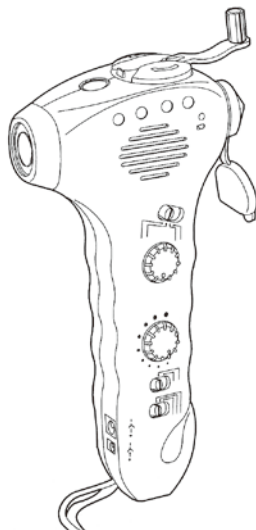


ダイナモラジオライト エスケープ ブラック

取扱説明書



日本国内意匠登録 第1205053号

このたびは「ダイナモラジオライトエスケープ ブラック」をお買い上げいただきありがとうございます。お使いになる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。本書は保証書を兼ねておりますので、紛失しないよう大切に保管してください。誤った使用により生じた損害に関しましては、当社は一切責任を負いませんので、予めご了承ください。

⚠ 警告

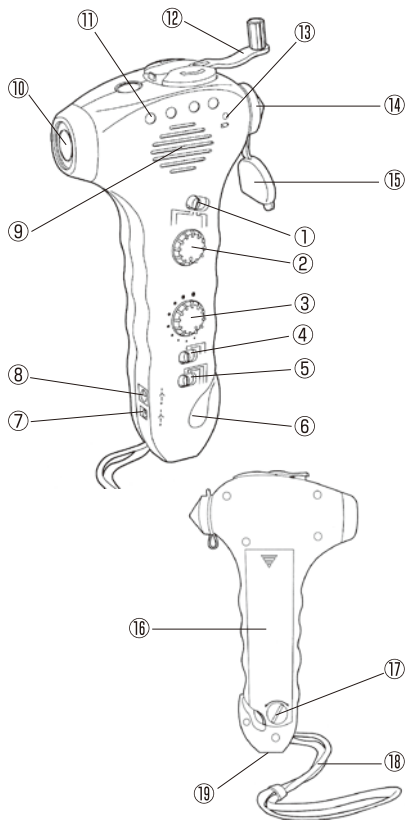
- 本製品を修理、改造しないでください。発火したり異常動作する恐れがあります。
- 内部に磁石を使用していますので、磁力の影響の受ける製品の近くでは使用しないでください。
- 防水仕様ではありませんので、雨、シャワーなど水に濡れる恐れのある場所での使用は絶対におやめください。
- 乾電池は、古いものと新しいものをまぜたり、アルカリ電池とマンガン電池をまぜて使用しないでください。
- 長時間ご使用にならない場合は、乾電池を本体から抜き取ってください。そのまま放置しますと、液漏れ、腐食、発火、故障などの原因となります。
- 小児の手の届かないところに保管してください。

1 基本機能

- LEDライト(白色1灯) ●点滅灯(赤色4灯) ●ラジオ(AM/FM) ●サイレン
- ウインドウクラッシャー(自動車の窓割りハンマー) ●シートベルトカッター ●携帯電話機の充電

2 各部名称

- ①機能切換スイッチ
(4段スライド式: ライト/点滅灯/ラジオ/サイレン)
- ②選局ダイヤル
- ③音量ダイヤル
- ④AM/FM/携帯充電: 切換スイッチ
(3段スライド式)
- ⑤電源切換スイッチ
(3段スライド式: 電池/充電電池/電源・切)
- ⑥シートベルトカッター
- ⑦携帯電話充電端子
- ⑧DCアダプター端子
- ⑨スピーカー
- ⑩LEDライト
- ⑪点滅灯
- ⑫手巻きダイナモハンドル
- ⑬充電確認インジケーター
- ⑭窓割りハンマー
- ⑮ハンマーキャップ
- ⑯乾電池ケース蓋
- ⑰ケース蓋つまみ
- ⑱ハンドストラップ/FMアンテナ
- ⑲磁石



3 付属品名称

- 携帯電話機充電コード
- 接続コネクタ4種(緑ラベル…スマートフォン用(microUSB端子)、オレンジラベル…au用、青ラベル…FOMA・Softbank3G用、白色コネクタ… 아이폰4/4S用Dockコネクタ)
- ※表記の社名または商品名は、各社の商標・登録商標です。

⚠ 注意

- ※⑭窓割りハンマーは先端が鋭く尖っていますので、ハンマーを使用するとき以外は、赤い⑮ハンマーキャップをしっかりと装着しておいてください。

4 電源

1. 充電電池 … LEDライト、点滅灯、ラジオ (FM/AM)、サイレン
2. 単3乾電池×2本(非付属、補助電源として、市販の単3乾電池が使用できます。) … LEDライト、点滅灯、ラジオ (FM/AM)、サイレン
3. 手巻きダイナモ … 充電電池、携帯電話機の充電
4. DCアダプター (非付属)

5 電源切換スイッチについて

ダイナモハンドルで充電した充電電池を使用する場合は、⑤電源切換スイッチを「充電電池」の位置に合わせてください。乾電池を使用する場合には「乾電池」の位置に合わせてください。本品を使用しない場合は「電源・切」の位置に合わせてください。



6 LEDライト/点滅灯/サイレンを使うには

1. 乾電池を使用する場合は、⑤電源切換スイッチを「電池」の位置に合わせてください。充電電池を使用する場合には「充電電池」の位置に合わせてください。(乾電池の入れ方と充電電池の充電方法に関しては後記の 8 9をそれぞれ参照ください。)

2. ①機能切換スイッチを希望の位置に合わせて、それぞれの機能が作動します。
〔ライト〕の位置に合わせて、LEDライトが点灯します。
〔点滅灯〕の位置に合わせて、赤色の点滅灯が点灯します。
〔サイレン〕の位置に合わせて、サイレンが鳴ります。



3. 動作を中止する場合は⑤電源スイッチを「電源・切」の位置に合わせてください。

(①機能切換スイッチを「ラジオ」の位置にあわせても動作を中止できます。ただしこの場合、④AM/FM/携帯充電：切換スイッチが「AM」もしくは「FM」の位置に合わせられており、③音量ダイヤルが「切」の位置以外に合わせられていると、ラジオが鳴りだしますのでご注意ください。)

※LEDライトの寿命はきわめて長く、通常の使用においては交換の必要がありません。

※点灯中のLEDライトの光を直視しないでください。視力障害の原因となります。

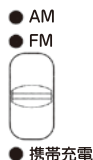
7 ラジオ (FM/AM) を使うには

1. 乾電池を使用する場合は、⑤電源切換スイッチを「電池」の位置に合わせてください。充電電池電池を使用する場合には「充電電池」の位置に合わせてください。
(電池の入れ方と充電電池の充電方法に関しては後記の 8 9をそれぞれ参照ください。)

2. ①機能切換スイッチを「ラジオ」の位置に合わせてください。

3. ④AM/FM/携帯充電：切換スイッチを「AM」または「FM」に合わせてください。

4. ③音量ダイヤルを時計回りに回すと「カチッ」と音がしてスイッチが入ります。

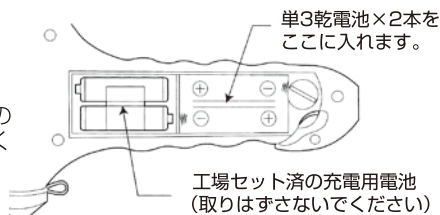


適当な音量に調節してください。

- 2.選局ダイヤルを回して、お聞きになりたい放送局に合わせてください。
- 3.スイッチを切るときは、③音量ダイヤルを逆時計回りに回し「切」の位置に合わせてください。この時「カチッ」と音がしますので必ず確認してください。この音はラジオの電源が切れる音です。（さらに、⑤電源スイッチを「電源・切」の位置に合わせておくと安心です。

8 乾電池の入れ方：補助電源として市販の単3乾電池を使用する場合

- 1.⑰ケース蓋つまみを左向きに回し、「OPEN」の位置に合わせてください。
- 2.⑰ケース蓋つまみをつまんで持ち上げ、⑱乾電池ケース蓋を外してください。
- 3.乾電池の+、-を確認し、市販の単3乾電池を2本、電池ケース内に正しく入れてください。（電池ケース内に予めセットされている電池の取扱いについては、後記の「警告」を参照ください。）
- 4.⑱乾電池ケース蓋の上部にある突起を、電池ケース内の上部にある溝に差し込むようにして合わせ、⑱乾電池ケース蓋を被せてください。この時、⑰ケース蓋つまみが「OPEN」の位置からずれていると、⑱乾電池ケース蓋と本体の間に隙間が空いてしまい、正しく閉めることができませんのでご注意ください。
- 5.⑰ケース蓋つまみを右向きに回し、「CLOSE」の位置に合わせると蓋が閉まります。



※ダイナモハンドルで充電し、市販の乾電池に充電することはできません。

⚠ 警告

電池ケース内の上部に予めセットされている充電用電池を抜き取り、その場所に市販の単3乾電池を入れてしまうと故障の原因となります。絶対にお止めください。この電池は市販の単3乾電池とは全く規格が異なります。

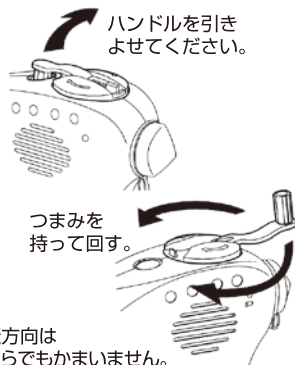
9 充電電池(本体)を充電するには

※購入後、初めて本機を使用するときは、充電電池は若干充電された状態になっています。

- 1.⑤電源スイッチを「電源・切」の位置に合わせてください。
- 2.⑩手巻きダイナモハンドルを引き出し、つまみをもって回してください。ハンドルを回す向きは、左右どちらでも構いません。

※ハンドルを回すスピードは120回転/分のペースが適当です。

※ハンドルを回すペース際に、指をはさまないように、ご注意ください。



※回転方向はどちらでもかまいません。

- ※充電電池の寿命はきわめて長く、通常の使用においては、交換の必要がありません。
- ※ダイナモハンドルの充電で、市販の乾電池に充電することはできません。

10 携帯電話を充電するには

- ※携帯電話の充電は、⑦手巻きダイナモハンドルを回して行います。
 - ※ケーブルをつなぐだけでは充電できません。
 - ※乾電池からは充電できません。
- 1.お手持ちの携帯電話の接続端子に合わせてコネクタをお選びください。コードのもう一方のプラグを⑦携帯電話充電端子に差し込みます。表面で差し込めない場合は、裏面にして差し込んでください。表、裏、どちらからでも差し込めます。
 - ※形状の異なるコネクタを無理に押し込んだりすると破損や故障の原因となります。絶対におやめください。
 - ※一部の機種で使用できない場合がありますので、ご了承ください。
 - 2.④AM/FM/携帯充電：切換スイッチを「携帯充電」の位置に合わせてください。
 - 3.⑤電源スイッチを「電源・切」の位置に合わせてください。
 - 4.⑩手巻きダイナモハンドルを引き出し、ツマミをもって回してください。ハンドルを回す向きは、左右どちらでも構いません。
 - ※ハンドルを回すスピードは120回転 / 分のペースが適当です。
 - ※ハンドルを回す際に、指をはさまないように、ご注意ください。
 - 5.ハンドルを回すと⑬充電確認インジケータが点灯し、携帯電話が充電中の状態になりますので確認してください。
 - ※携帯電話機の電池残量がゼロの場合、100～200回転ほどしてからでないと充電が始まらない場合がありますので、予めご了承ください。
(充電が開始されるとハンドルが少し重く感じます。)
 - ※充電中は携帯電話機を平らな場所に置き落下しないようご注意ください。
 - ※充電時間と使用時間の目安に関しては、裏表紙に記載の「手巻きダイナモ充電による各機能の使用時間の目安」を参照ください。



禁止

ダイナモハンドルはゆっくりと！

携帯電話を充電される際は、ダイナモハンドルをできるだけゆっくりと回していただきますようお願いいたします。携帯電話の充電ランプ(または充電中などの画面表示)が点灯しますと携帯電話に充電されています。あまり強く回しすぎますと、携帯電話の本体に過大な電圧の電流が流れ、携帯電話機本体の電源が切れたり、充電異常などの表示が表れたりする事があります。**ダイナモハンドルを強く回しても充電時間が短くなる事はありません。**(1秒間に2回転が目安です)万一、携帯電話に異常が見られた場合、純正の充電器をご利用になって安定した電圧電流でしばらく充電していただきますと、通常の状態に戻ります。また、携帯電話機本体に直接接続せず携帯電話充電器を経由して充電したり、電池をはずして充電した場合に携帯電話機が破損する恐れがありますので、絶対にお止めください。



注意

メモリー消失に注意！

携帯電話機は当社製品の使用に関わらず、何らかの原因によって電話帳や登録情報などのメモリーが、突然消失してしまう危険性があります。登録情報はあらかじめ別の方法で控えをとっておくことを強くお勧めします。なお、本製品の使用により一時的に携帯電話が通話できなくなったり、メモリーが消失したりいたしましても、当社では責任を負いかねますので、ご了承の上お使いください。



禁止

普段の充電は純正充電器で…

本製品のご使用はあくまで、純正の充電器が使用できない場合の一時的なご利用を想定して設計されております。日常の充電には携帯電話会社純正の充電器をお使いいただきますようお願い申し上げます。

○適合機種について

- PHSには充電できません。
- 市販されているほとんどの携帯電話に対応していますが、一部の機種で使用できない場合がありますのでご了承ください。
- 海外製の機種はお使いになれません。
- 充電開始後すぐに「警告」や「充電をやめてください」というような表示がでてくる場合もあります。その際はすぐに充電をやめて下さい。故障の原因となります。
- 充電できない場合は、当社窓口にご相談ください。

○iPhone用のDockコネクタについて

- 白色コネクタ(以下コネクタ)を付属のケーブルに接続しiPhone本体の充電用差込口にまっすぐに差し込んでください。コネクタのグレーのシールがない白い面を上向きにして差し込んでください。(グレーのシールが貼ってある面は裏側です。)もう一方の先端ジャックをラジオライクの携帯充電用の端子穴に差し込んでください。
- コネクタをiPhoneから抜く時はコネクタ両側にあるつまみを押してからまっすぐに抜いてください。
※つまみを押さえずに無理に引き抜くとiPhone本体及びコネクタの金具ツメを破損させるおそれがあります。
- iPhoneの機種によっては充電開始時に「充電機能はこのアクセサリではサポートされていません。」と表示される場合があります。その場合は再度少し早めにハンドルを回してください。その際でもハンドルの回転速度は1分間で120回転を超えない速度で回してください。
※数回試みて警告が出るようなら、使用をお止めください。

対応機種: iPhone4/4S

※アイパッドシリーズへの充電は出来ません。

11 自動車からの緊急脱出：シートベルトカッター、窓割りハンマーを使うには

- 1.⑥シートベルトカッターを図のように使い、ベルトを切ってください。
- 2.⑭窓割りハンマーをカバーしている赤い⑮ハンマーキャップを外してください。
- 3.ガラスの飛び散り等に備え、図のように顔を適当なもの(タオル等)で保護してください。無い場合は、手のひらを顔の前にかざして保護してください。
- 4.ウインドウの中心部に⑭窓割りハンマーの尖った先端を強く叩きつけ、ガラスを割ってください。



●シートベルトカッター使用例



●窓割りハンマー使用例

⚠ 注意

- ※事故発生時等の緊急脱出、救出以外の目的で使用しないでください。あくまでも緊急時に自動車から脱出するため、他に方法が無い場合に使用する手段です。
- ※自動車のフロントウインドウは頑丈に作られているため、本機では割れませんのでご了承ください。
- ※窓を割ったことにより、使用者や同乗者がけが、負傷をされても、弊社では一切責任を負いませんので予めご了承ください。
- ※本機は運転者・大人が必ず管理し、小児の手に届かないようにしてください。ハンマーやカッター部分でけがをされる恐れがあります。またハンマーを使用する時以外は、赤い⑮ハンマーキャップをしっかりと装着しておいてください。

12 磁石

本体底部には⑩磁石がついています。鉄板やステンレスの平面上に立たせて、本機を使用することができます。(垂直方向にのみ可能です。)ただし重心が高いため強く固定できません。斜になったり、ちょっとした振動や接触ですぐに倒れてしまいますので、予めご理解の上、危険の無いように使用してください。

⚠ 注意

※本機が倒れたことにより、鉄板やステンレス、車のボンネット等にキズがついても、弊社ではその責任を負いません。

○仕様

- ・受信周波数：AM / 540～1600kHz
- ・アンテナ：FM / 76～90MHz
- ・電源：充電ニッケル水素電池(1.2V600mAh×2本)、単3乾電池×2本
家庭電源、手巻きダイナモ
- ・発電機：手巻きダイナモ(出力4.5V/400mAh)、双方向回転式
- ・付属品：携帯電話充電用コード(接続コネクタ4種類)
- ・本体寸法：219×125×50mm
- ・本体材質：ABS樹脂
- ・使用温度：-10～40℃

※単3乾電池は付属していません。ご使用になりたい場合は、電器店等でご購入ください。

※家庭電源用AC/DCアダプターは付属していません。当社指定品:ダイナモラジオライト「エスケープブラック」用AC/DCアダプターを別途お買い求めください。またご使用の際は⑤電源切換スイッチを「充電電池」の位置に合わせてください。

手巻きダイナモ充電による各機能の使用時間の目安

○手巻きハンドルを120回転/分で回してください。

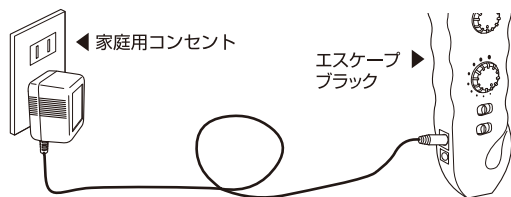
機能	240回転で	備考
LEDライト	5～10分	4分以降、徐々に光が弱くなります。
ラジオ	10～15分	音量によります。
サイレン	3～6分	3分以降、徐々に音量が小さくなります。
	360回転で	
携帯電話	1分	連続通話時間
	20分	連続待ち受け時間

※携帯電話への充電はハンドルを回している時のみ可能です。ケーブルをつなぐだけでは充電できませんので予めご了承ください。

※上記の表はあくまでも目安です。使用条件、環境などにより効率が異なりますので、ご了承ください。回転数を増やせば、さらに長時間の使用が期待できます。

※携帯電話機の充電は、携帯電話機の電池残量により効率が異なります。残量がゼロの場合、100～200回転ほどしてからでないで充電が始まらない場合がありますので、予めご了承ください。(充電が開始されるとハンドルが少し重く感じます。)

AC/DCアダプター(別売)のご使用について



- 当社指定の専用アダプターをお買い求めください。
- ⑤電源切換スイッチを「充電電池」の位置に合わせてください。
- 図のように家庭用コンセントとエスケープブラック本体を、アダプターで接続してください。
- 充電電池が空の状態からフル充電になるまで約3時間です。それ以上の充電は過充電になり、エスケープブラック本体に損傷を与える恐れがありますので、3時間以上の充電はおやめください。(コンセントから外してください。)

○エスケープブラックの携帯電話充電機能はAC/DCアダプターからは行えません。ダイナモハンドルでの充電のみに対応しています。